

重点的な測定結果

市では、10月24日から11月4日に渡り、独自に公共施設(小・中学校、保育園、幼稚園、公園、公民館など)311施設、3,968地点)の側溝や雨どいの排出口など、比較的放射線量が高いとされている場所の放射線量測定を実施しましたが、すべての地点で国が示している安全基準を下回りました。

なお、4地点(いずれも雨どいの排出口の地上1cm)で毎時1マイクロシーベルト以上の値が確認されました。いずれの個所も通常人が立ち入らない場所、または一定時間以上人が滞在しない場所ではありますが、念のため除染作業を行いました。その結果、すべての地点で測定値は毎時1マイクロシーベルトを下回りました。



【雨どいの下の地上1cmで毎時1マイクロシーベルト以上となった場所】

施設名	除染前測定値 (マイクロシーベルト毎時)		除染後測定値 (マイクロシーベルト毎時)	
	1cm	1.87	1cm	0.74
老人福祉センター大堰永寿荘 (東側雨どい排出口)	50cm	0.48	50cm	0.42
	1m	0.24	1m	0.24
	1cm	1.10	1cm	0.24
教育文化センターみらい (南側雨どい排出口)	50cm	0.12	50cm	0.12
	1m	0.14	1m	0.07
	1cm	1.22	1cm	0.60
長野公民館 (西側雨どい排出口)	50cm	0.24	50cm	0.14
	1m	0.14	1m	0.13
	1cm	1.67	1cm	0.42
児童交通公園 (南側雨どい排出口)	50cm	0.27	50cm	0.12
	1m	0.22	1m	0.11



①雨どい排出口の測定

②除染作業(地表面の土を除去)

農作物の測定結果



農作物の測定

米の安心・安全を確認するため、市内10カ所の田で大気中の放射線量を8月から10月の3カ月に渡り測定しましたが、暫定基準値(毎時0.15マイクロシーベルト)を超える空間放射線量は検出されませんでした。

また、埼玉県が市内で栽培された米(玄米)に含まれる放射性物質の濃度を検査しましたが、「検出せず」という結果になりました。

※測定単位：Bq(ベクレル)/kg(キログラム)

※米に含まれる放射性物質の暫定基準値は500Bq/kgであり、測定結果の「検出せず」とは、放射性ヨウ素、放射性セシウムともに検査器で測定できる定量下限値未満であることを示す。

※定量下限値：放射性ヨウ素および放射性セシウム20Bq/kg

▶問い合わせ 農政課農政担当(内線387)

水道水の測定結果

本市の水道水は、市内の深井戸からくみ上げる井戸水と利根川を水源とする埼玉県行田浄水場から送水される県水をブレンドして送水しており、その割合は井戸水6割、県水4割となっています。

井戸水は深層部に存在する地下水を安定して取水できる深井戸からくみ上げており、大気中の物質の影響を受けにくいとされていますが、市では、厚生労働省が示した「今後の水道水中の放射性物質のモニタリング方針について」に準じ、向町浄水場および南河原浄水場で月に1回検査を実施しています。

採水日	向町浄水場		南河原浄水場	
	放射性ヨウ素 (I-131)	放射性セシウム (Cs-137)	放射性ヨウ素 (I-131)	放射性セシウム (Cs-137)
10月13日(木)	不検出	不検出	不検出	不検出

※ 測定単位： Bq(ベクレル)/kg(キログラム)

※ 国の指標： 放射性ヨウ素 飲料水300Bq/kg (乳児の飲料水は100Bq/kg)
放射性セシウム 飲料水200Bq/kg

▶問い合わせ 水道課管理担当 ☎553-0131

この記事に関する問い合わせは防災安全課防災担当(内線282)